

# 闇と光 ー清親・安治・柳村

2022年11月1日（火）～12月18日（日）

前期 11月1日（火）～11月23日（水・祝）

後期 11月26日（土）～12月18日（日）前後期で全点展示替え



## 展覧会概要

今から約150年前の明治9年（1876）、小林清親は、西洋からもたらされた油彩画や石版画、写真などの表現を、木版画である浮世絵に取り込むことによって、これまでにはない東京の風景を描きました。真っ暗な夜の街に輝くガス灯の光や、鮮やかな赤い色に染まった夕焼けの空など、光や影のうつろいを巧みに捉えた清親の「光線画」は大いに流行し、井上安治や小倉柳村といった絵師たちも後に続きます。光線画の流行はわずか5年ほどという短い期間で去りますが、木版画の新しい可能性を切り開くものでした。近年注目される、大正から昭和の「新版画」の先駆けとも位置付けられるべきでしょう。

本展覧会では、小林清親を中心に、これまで紹介される機会の少なかった井上安治と小倉柳村が描いた光線画、約200点（前期と後期で全点展示替え）を展示します。木版画だからこそ味わい深い、闇の色、光の色をお楽しみください。

## 本展の見どころ

- 1 清親・安治・柳村の光線画の全貌を伝える約200点が集結（前後期で全点展示替え）
- 2 夭折の絵師・井上安治と幻の絵師・小倉柳村にフォーカスする貴重な機会
- 3 同じ板木でも摺りが異なる「摺り違い」や、画面にニスを引きいた「ニス引き」など、変わり種の作品を比較して展示

## 絵師紹介

小林清親 -こばやしきよちか- (1847～1915)

明治を代表する浮世絵師の一人。洋画や写真を学び、明治9年から13年にかけて、光と影を情感豊かに捉えた「光線画」を発表して人気を博す。その後は、報道雑誌に風刺画を描いたり、江戸時代の浮世絵に回帰した風景画や歴史画、戦争画を手掛けたりするなど、光線画とは異なる画風を展開した。

井上安治 -いのうえやすじ- (1864～89)

小林清親の門人で、清親の光線画を忠実に受け継ぐ。その後、井上探景と画号を改め、さまざまなタッチで浮世絵を描くが、数え26歳という若さで亡くなってしまった夭折の絵師。杉浦日向子氏の漫画『YASUJI 東京』で取り上げられたことでも知られる。

小倉柳村 -おぐらりゅうそん- (生没年不明)

明治13～14年（1880～81）、小林清親に倣って光線画を制作するが、作品はわずか9点しか確認されていない。経歴はまったく分かっていない正体不明の謎の絵師。代表作は「湯嶋之景」。男性二人が静かに静かに月を眺めるミステリアスな雰囲気が特色。

## 小林清親



小林清親「江戸橋夕暮富士」(太田記念美術館蔵) 前期



小林清親「两国花火之図」(太田記念美術館蔵) 後期



小林清親「川口善光寺雨晴」(太田記念美術館蔵) 前期



小林清親「大川岸一之橋遠景」(太田記念美術館蔵) 後期

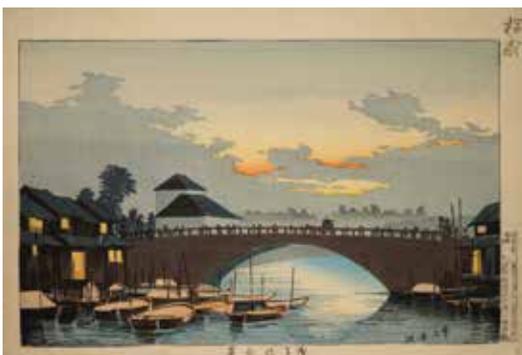


小林清親「佃嶋雨晴」(太田記念美術館蔵) 後期



小林清親「佃嶋雨晴」(個人蔵) 後期 ※摺り違い

## 井上安治



井上安治「浅草橋夕景」(個人蔵) 前期



井上安治「銀座商店夜景」(太田記念美術館蔵) 後期

## 小倉柳村



小倉柳村「湯嶋之景」(太田記念美術館蔵) 前期



小倉柳村「御茶水之景」(個人蔵) 後期



小倉柳村「向嶋八百松楼之図」(太田記念美術館蔵) 前期



小倉柳村「向嶋八百松楼之図」(個人蔵) 前期 ※ニス引き

タイトル 闇と光 一清親・安治・柳村  
英タイトル Darkness and Light -Kiyochika, Yasuji and Ryuson  
会 期 2022年11月1日(火)～12月18日(日)

前期 11月1日(火)～11月23日(水・祝)

後期 11月26日(土)～12月18日(日) 前後期で全点展示替え

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日、11/24-25(展示替えのため)

入館料 一般1000円 大高生700円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式Twitter @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail [om@ukiyoe-ota-muse.jp](mailto:om@ukiyoe-ota-muse.jp)

展示担当：日野原健司 広報担当：金塚さくら



太田記念美術館  
公式サイト



画像申請・取材  
の申込はこちら